

【森議員の一般質問（1面からの続き）】

一部時給職の会計年度任用職員に休業要請して休業手当を支給。延べ115人、計225万3839円である。

(5) 新型コロナ感染者の受入体制はどうか。市内に受入病院はあるのか。軽度感染者の受入はどうしているのか。

→（部長）県内の状況は、6月12日で受入病床223、中等症者床及び軽症者用180、他117と見られる。病院が公表されず、市内の状況は把握できない。

(6) 雇用調整助成金の申請にかかる社会保険労務士の費用補助を東温市でも実施すべきではないか。

→（部長）東温市商工会では会員の相談会、手続き支援、社会保険労務士の派遣などを行っている。同会員の有無に関わらず、ネットによる申請手続きサポートをしている。市として申請費用に対する補助を行う予定はない。

(7) 市民への支援などについて、東温市でもパンフレットにして周知徹底されたい。

→（部長）情報が頻繁に変更されており、その都度作成配布は困難で

市民が混乱する恐れもある。ホームページや、とうおんめーる、広報誌などを活用して最新情報を発信していく。

【介護保険と特別養護老人ホームなどで】

(1) 介護保険料が県内で一番高い実態だが、一般会計からの繰り入れで保険料引き下げを。

→（課長）保険料が高いのは、介護関連施設の多さや介護認定率の高さに要員があるが、一般会計からの繰り入れは適切でないとの国方針があり繰り入れは考えていない。

(再質問) 国会で共産党が追及し、一般会計からの繰り入れはできるということで国に確認をとっている。繰り入れ可能の立場でやってほしい。

→（課長）国において低所得者への軽減措置があり、消費税により非課税世帯にはさらに軽減措置がある。ある程度収入のある方は一定の負担をいただく。

(2) 特別養護老人ホームの待機者は、12月の私の質問に108名と答弁があった。第8期の介護保険が始まるが、施設の建設を行っていただきたい。

→（課長）108名のうち、92名は必要性が低く、必要性の高い方16名＝14.8%と、県内では最も低い。建設については、総合的な観点から検討していく必要がある。

(再質問) 待機者がなくなるよう頑張ってほしい。医療センターの一部を借りて月1回のサロンが開かれている。行く行くは総合的な福祉施設をつくろうと頑張っておられる。市長の考えを問う。

→（課長）16名をどう捉えるか、慎重に判断する必要がある。

→（市長）愛媛医療センターの対応を見ながら判断していきたい。皆さんがサロンとして動きながら、これからも元気でいただくことが介護保険料の軽減にもつながると思う。

年金削減ノー！署名運動開始

(1月が改訂時期)

全日本年金社組合は、来年1月の改訂時に、年金の減額をさせないよう、署名運動を開始しました。

年金引き下げが強行されると、社会の経済沈下を招きま

す。許されません。

一緒にとりくみましょう。



2020/8/5 しんぶん赤旗から

少人数学級実現へ 署名にご協力ください

国際NGO新日本婦人の会や全日本教職員組合などが、少人数学級を求める署名に取り組んでいます。

コロナ危機の中で学ぶ子どもたち。40人学級では、感染を防ぐための身体的距離もとれません。分かる授業を進める上でも20人学級にすべきです。

署名項目は2点。

①安心・安全な少人数学級をすみやかに実施してください。

②授業を詰め込みすぎず、仲間との学びと豊かな学校生活を保障してください。

一緒に署名を集めましょう。



子どもに直接責任を負う先生たちが選ぶ教科書採択を



2020/8/5 しんぶん赤旗から

今年は4年ぶりの中学校教科書採択の年です。しんぶん赤旗は、育鵬社の中学歴史・公民を使っていた横浜で、今回は「侵略美化教科書選ばず」と報じました。東京でも7月に同様の動きがありました。

松山市教委は2015年に、現場の先生たちの推薦ゼロなのに育鵬社版を選びました。是正が求められます。

東温市でも常に危険はあります。

国際NGO新日本婦人の会東温支部と退職教職員連絡協議会の東温支部は連名で、市教育委員会に申し入れました。

まず、7月20日に「教員の教科書研究の時間」保障と、教科書を選ぶ教育委員会の「公開、傍聴」を求め、教員の意見尊重を求める書面を提出しました。

その上で、8月7日には、東温市の住民7人が、東温市教委に出向いて申し入れました。教育委員会側は、教育長ほか5名が対応しました。